

全国漁業信用基金協会宮崎支所

理事 日高 光明

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様には、日ごろから温かいご支援、ご協力を頂き誠にありがとうございます。

ご案内のとおり、令和元年は本会にとって大きな変革がございました。まず一つ目は、4月に全国基金協会の第2次合併として18協会の吸収合併を行い、保証残高1659億円、基金総額520億円の基金協会が誕生したこと。二つ目は、18年もの長きにわたり宮崎県漁業信用基金協会および全国漁業信用基金協会宮崎支所を先頭に立って引っ張ってきた森井担当理事が退任され、私が新たな理事として就任したことであります。



このように、全国においても宮崎県支所においても新たな気持ちでスタートを切ったところでありますが、県内の漁業情勢に目を転じてみますと、水揚不振・魚価安といった漁業の行く末を案じる声が多く聞かれるのも確かです。

我ら保証機関としては、それら多くの漁業者の声に真摯に対応することはもちろんのこととして、漁業の成長産業化を支援できるよう5か年の中期事業計画を立て、融資・保証のインフラ整備に取り組むこととしており、系統唯一の保証機関として将来の浜を担う漁業経営体を金融の側面から支援を行っていく所存でありますので、会員の皆様をはじめ関係団体の皆様にはご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、新しい年が、皆様にとりまして希望に満ちた明るい年になりますように、心からお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

